



## 【社会教育課 主催事業】

- 1 南予地区愛護班活動研究集会 [令和年6月9日(日) 内子町]
- 2 南予地区学校・家庭・地域連携推進事業情報交換会  
[令和元年7月10日(水) 宇和島市]
- 3 親子で楽しもう！ [令和元年8月25～26日(土・日) 大洲市]
- 4 公民館活動活性化ステップアップセミナー [令和元年9月19日(火) 愛南町]
- 5 南予管内社会教育行政担当者研修会 [令和元年10月4日(金) 松野町]

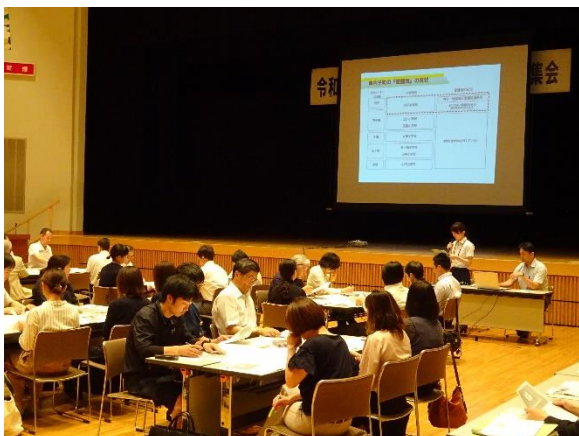
## 【研修会・活動の様子】

## 1 南予地区愛護班活動研究集会

今年度は、開会行事で県愛護連事務局より「青少年の体験活動の現状と効果」に関する情報提供がありました。体験活動の意義や効果に関するデータを基にした話は、参加者に愛護班活動の理解につながりました。事例提供では、内子・城廻地区愛護班連絡会と鬼北町愛護班連絡協議会の活動報告を行っていただきました。それぞれ地域に残る団体を生かしながら行われている活動は大変参考になりました。

班別協議では「愛護班活動を企画しよう」をテーマに活動内容や協力してもらう団体を考え、自分たちにできそうな愛護班活動を企画しました。そして、愛媛県愛護班連絡協議会石黒会長に四国中央市で行われている愛護班活動について実践に基づいた講演をしていただきました。

本研修会のアンケートでは、「参考になった・ある程度参考になった」という肯定的意見が全体の98%を占め、参加者の満足度は高く好評でした。



## 2 南予地区学校・家庭・地域連携推進事業情報交換会

南予管内で「学校・家庭・地域連携推進事業」に取り組む担当者同士で情報交換を行い、相談し合える人間関係を育むとともに、学び合い高め合うことにより、事業の円滑な推進及び活性化を目的としています。今年度は、県社会教育課中尾係長による情報提供、「せいよキッズキッチン」「泉小学校区地域学校協働活動」の事例提供を行いました。学校・家庭・地域連携推進事業の全国・県の流れや南予で行われている活動を知ることができ参加者には参考になることが多くありました。

後半は、「地域学校協働活動」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」「えひめ未来塾・土曜教育」「市町担当者」に分かれて情報交換を行いました。同じ事業担当者で気楽に悩みや活動について相談できる時間にし、積極的な意見交換の場になりました。



## 3 親子で楽しもう！

大洲青少年交流の家で、夏休みの二日間、体験を通して親子の絆を深める活動を行いました。小学校3年生から6年生までの児童とその保護者約50名が参加し、レクリエーション、オリエンテーリング、星空に関する学習会、木で作る楽器カホン作り、カレー作り（子ども）、家庭教育・子育てに関する学習会（親）等のプログラムを行い、親子、親同士、子ども同士の交流を深めました。

- ・お母さんといろいろできてよかった。・友達ができてよかった。
- ・子育ての悩みを共有できて、心が軽くなった。
- ・初めての参加でしたが、とても楽しくあっという間の2日間でした。

などの、感想が寄せられました。





#### 4 公民館活動活性化ステップアップセミナー

住民に最も身近な学習拠点である公民館は、地域づくりの中心となる社会教育施設で、地域学校協働活動、防災教育の推進など今日的な課題への対応が求められています。本セミナーでは、公民館活動に関わる関係者が一堂に会し、専門的・実践的な知識・技術についての研修を行いました。

今年度は、伊予市まちづくり学校双海人（用夢員）本多正彦氏に「地域の笑顔をふやしたい」と題して、ご講演をいただきました。地域おこし協力隊としてのご経験から、お話しいただき、人とのつながりや、学校を核にした地域とのかかわりについて、公民館活動に共通する視点があることを学びました。午後の分科会では、4つのテーマを設けて、それぞれの地域で特色ある公民館活動の事例発表・研究協議を行いました。

例年6月に実施するセミナーですが、大雨による警報発令により、避難所の開設を行った公民館もあったため、開催を延期し、今年度は、9月19日の実施となりました。



## 5 南予管内社会教育行政担当者研修会

昨年度の豪雨災害により、南予地域では、地震津波だけではない、自然災害の脅威をより身近に感じ、防災教育の重要性が一層増してきました。そこで、今年度は「西日本豪雨災害の経験に学ぶ防災～その時必要な、もの、判断、ネットワーク～」をテーマに研修を行いました。

前半のパネルディスカッションでは、災害に直面した時、どのように行動したのか、どのような判断が必要だったのか、どのような連携があったのか、行政、民間、学校それぞれの立場で、3名の方に発表をしていただきました。

後半は、愛媛大学防災情報センター長、森脇亮先生から、「多発する自然災害から学ぶべきこと～防災教育の重要性～」と題して、講演をしていただきました。

避難活動を開始するためのタイムラインや、避難所に到着してからのファーストミッションボックスの作成について、住民とともに考えるべきことについてお話をいただき、参加者が自分の地域に持ち帰り社会教育における防災をどのように実践するかということについて考えを深める有意義な研修となりました。

